

デマンド交通実証運行の実施について

1 目的

町内を走るコミュニティバス（おと姫バス）は利用が低迷しており、また町民からは「ダイヤ・コースが複雑で分かり難い」との声を聞くことも少なくない。こうした状況を受けて、昨年度、デマンド型（予約型）での実証運行を1か月間実施し、短期間にも関わらず若者を含む多くの町民等に利用され、利用者から高い評価を得た。

上記を踏まえ、今年度は約3か月間の実証運行を行う。あわせて利用促進に向けた周知の取組を行うとともに、運行結果より導入効果や課題等を検討する。

2 運行実験の概要

名 称	デマンド型おと姫バス
実施主体 運 行	実施主体：大崎上島町 運 行：さんようバス(株) ※従来のおと姫バスと同様
運行開始	令和5年12月16日(土) ※毎日運行(1/1～1/3は運休)
運行方式	予約方式・区域運行で運用 ※運行ルート・ダイヤを設定せずに、予約に応じて運行する方式
エリアと 乗降箇所	運行エリア：大崎上島及び長島 乗降箇所：町内に「乗降ポイント」を設定する
車 両	・2台(トヨタハイエースを予定) ※1台で運用する時間帯あり ・運行事業者が借り受けたレンタカー車両を使用 ※4月以降、本格運行へ移行する際は町が車両を確保する
配 車	予約・配車システム(富士通(株))を使用
運行時間	7:00～18:00 ※運行時間のうち、10時台～14時台、17時台は、車両1台で運用
運 賃	大人100円 小学生以下50円(未就学児は同伴者1人につき1名無料) ※従来のおと姫バスと同様
利用方法	・事前に利用登録が必要 ・利用日の3日前から当日利用時刻の30分前までにインターネットで予約 ・電話予約も可能

※上記は実証運行の内容であり、別途、従来のおと姫バス(2台)は通常通り運行する。



図 運行エリアと乗降ポイント

※昨年度の実証運行で設定した乗降ポイント（93 箇所）を基本として、さらに集落付近に設定されていない場合は新しくポイントを追加（9 箇所）した。（計 102 箇所）
 なお、運行する中で町民から要望があれば、新しいポイントの設置を検討する。

3 実証運行の周知について

(1) 各種媒体による広報

実証運行について町民等へ広く周知を図るため、利用ガイド、ポスターを製作するとともに、町ホームページ、広報紙を用いて発信する。

媒体	記載内容など	様式	部数
利用ガイド (パンフレット)	○利用登録の方法、予約・乗車の方法、乗降ポイント 箇所等を掲載する ○全世帯へ配布、及び学校等の町内施設へ配る	A 3 2 つ折り (両面)	5,000 部 程度
ポスター	○運行概要、開始時期等を示す ○公共施設、学校、港湾施設（竹原港、安芸津港含む） に掲示する	A 2 (片面)	20 部 程度
町広報紙	○デマンド型おと姫バス運行スタートについて町民に 広く周知を図る	—	11 月号 12 月号
その他	○町のホームページに情報掲載	—	—

(2) 現行おと姫バス利用者への周知

デマンド型の実験運行の開始後も現行おと姫バスを利用している方を対象に、次の方法で実証運行の周知を図る。

- ・デマンド型の利用方法等を記載したチラシを車内で配布（手渡し 3 日間・留置き 1 週間）
※次頁に示すアンケート調査と一緒に配布
- ・車内にポスターを掲示

(3) スマートフォン等による予約方法の説明会

町内（3 地区程度）において、スマートフォンを持つ高齢者を対象に、デマンド型おと姫バスの予約方法などの説明会を開催する。

（実施時期（予定））1 月中旬頃

（実施の流れ（予定））

- ・デマンド型おと姫バスのサービス概要を説明
- ・スマートフォンによる予約方法を説明
- ・その場で「利用登録」を行う。

※ スマートフォンを持っていない人は、その場で「利用者登録申請書」を記入

※ 可能な方は、当日実際にデマンド型おと姫バスを予約し、帰宅等で利用

※ 広島商船高等専門学校の学生に協力を依頼予定

4 検証に向けた各種調査

(1) 利用実績の整理

実証運行期間（途中時点まで）の利用実績より、利用者数や予約者属性（年齢、性別）、予約方法、また利用が多い乗降ポイント等を整理して、デマンド型おと姫バスの主な使われ方を把握する。

(2) アンケート調査・ヒアリング調査

a) 現行おと姫バス利用者へのアンケート調査 [1月中旬実施予定]

対 象	現行おと姫バスの利用者
調査方法	○デマンド型おと姫バス運行開始後（併行運行の期間）に、車内にて調査員が手渡し配布（3日程度） ○手渡しと別の日に、車内留置き（1週間程度）
主な質問内容	○普段の現行おと姫バス、デマンド型おと姫バスの利用頻度 ○デマンド型の利用方法の認知度 ○デマンド型を利用していない理由 ○今後のデマンド型の利用意向 など

b) 利用登録者へのアンケート調査 [2月中旬実施予定]

対 象	利用登録者
調査方法	○配布は、登録時に入力する住所情報を用いて、調査票を郵送配布 ○回答方法は、紙面（郵送回収）またはWEBで回答 を予定
主な質問内容	○デマンド型おと姫バスの利用について（頻度、目的、行き先） ○現行バスと比べたデマンド型の利用しやすさ ○サービス内容や予約方法の問題、改善要望 など

c) 大崎上島町観光協会へのヒアリング調査 [2月中旬実施予定]

調査方法	対面での聞き取り調査
主な質問内容	○観光客等の来島者にもデマンド型おと姫バス利用を促すため、周知方法、促進策などの意見・アイデア等をお聞きする

d) 運行事業者へのヒアリング調査 [3月上旬実施予定]

調査方法	対面での聞き取り調査
主な質問内容	○既存交通からデマンド型への利用転換の状況 ○乗務・オペレータ業務の問題や改善点 ○サービスの継続や利用促進などへのご意見 など